

18 かわさき総合ケアセンター

ケアセンターのキーワードである緩和ケア、在宅ケア、高齢者ケア、地域連携の各分野で、新たな展開を進めることができました。

厚生労働省の今後の高齢者ケアの指針として、地域包括ケアが示されていますが、従来、かわさき総合ケアセンターの目指してきた概念でもあり、地域包括ケアの実現のために、当センターも、緩和ケア病棟、在宅ケア・医療相談部門、ケアプラン病床などの各分野で、取り組む必要があると考えられます。

ケアプラン病床は、4 東病棟を中心に、緊急緩和ケア入院、在宅移行支援、非がん緩和ケアなどを推進するとともに、地域包括ケアとの連携をすすめています。

地域がん診療連携拠点病院として、国の進める緩和ケアセンターの要件を満たすように努力しているところです。宮森は、神奈川県地域がん診療連携拠点病院連絡協議会の緩和ケア部会長、神奈川県がん対策協議会委員として、県の協議会に参加しました。

神奈川県単位型・緩和ケア研修会を多数開催しました。平日夜間のスキルアップ研修会と日曜の集中講義、緩和ケアスキルアップ研修会を合計7回開催しました。さらに、地域の看護・医療・介護関係者を対象にしたかわさき在宅ケア・緩和ケア症例検討会を5回開催し、地域との顔の見える関係を強化しました。

西医師を中心として、市民のがんの不安に 대응するため、がんサロンを開催しており、月2回開催のうち、1回は、勤労者が参加しやすいように準夜帯に開催し、好評を得ています。

今年度も多くの研修医師を受け入れることが出来ました。専門研修として、村瀬樹太郎、小柳純子、濱田なみ子、荒川健一、2-3 ヶ月短期研修として、勝又聡彦、森屋淳子、長谷川司、本橋健史、有馬聖永が研修を行いました。初期研修医の1ヶ月地域研修として、阿南隆介、曾根原弘樹、高聖淵、花田亮太、白川和宏、淵田幹太、前田裕斗、増澤佑哉、竹原朋宏、廣瀬恵、小林研太、郡山琴絵、橋本麻美、安東一樹、大西瑞恵、医学生研修は、東京医科歯科大から関文恵、佐野裕太、東大から松本健司、慶応大から明石一浩を受け入れました。

(文責 ケアセンター所長 宮森 正)

(1) 緩和ケア病棟

緩和ケア病棟は、3床増床したこともあり、受け入れ患者数は、271名と増加、平均在院日数は28.2日と短く、平均病床利用率は82.3%でした。緩和ケア病棟への転院には、初診外来予約が必要ですが、激しい疼痛や苦痛が緩和できない場合には、外来・在宅患者の救急対応や一般病棟への緊急緩和ケア入院にも対応できるように緩和ケア内科の当直体制を確保しています。緩和ケア病棟への入院は、重症順にしており、急な病状悪化や当院初診の場合には、緊急緩和ケア病床として一般病棟にて全て対応できるようにしております。

緩和ケアへの手順としては、早期からの緩和ケアを基本として、当院では、化学療法から緩和ケアが関わり、疼痛緩和を早期に行います。通院困難となった場合には、在宅ケアを基本として、在宅緩和ケアを行い、在宅での疼痛緩和が困難となった場合には、緊急緩和ケア病棟や緩和ケア病棟での治療ケアとする方針となっております。

(文責 ケアセンター所長 宮森 正)

a 緩和ケア病棟 行事

開催日	内 容
4月10日	春の会 バイオリン演奏
5月8日	端午の節句 マンドリン演奏
6月12日	フラダンス
7月10日	七夕 ギター演奏 岩見谷洋志氏
8月23日	花火大会
9月11日	お月見 歌
10月9日	秋祭り 日本舞踊
11月13日	芋煮会 二胡演奏
12月11日	クリスマス会 藤原容子コンサート
1月8日	新春の会 大正琴
2月5日	節分
3月5日	お雛様 マンドリン

※その他、井田病院院内コンサート等イベント参加

b 緩和ケア病棟 各種ボランティア等活動

活動内容	活 動 日 (原則)
介護ボランティア	月曜日～土曜日
ハーブガーデン園芸ボランティア	毎週月曜日
園芸ボランティア	毎週木曜日
図書・ティーサービス	毎週木曜日 14:00～
折り紙	毎月第1火曜日 14:00～ (8月、1月休み)
絵手紙	毎月第1月曜日、第1木曜日 14:00～ 5月休み、11月休み
音楽療法	毎月第2・4火曜日 14:00～
アロマセラピー (アロマセラピスト)	原則毎月第4 (6月～第2) 金曜日 4/25, 5/23, 6/13, 7/11, 8/8, 9/12, 10/10, 11/14, 12/12, 1/9, 2/13, 3/13
温灸療法 (鍼灸師)	原則毎月第4水曜日 (不定期) 14:00～ 4/23, 5/28, 6/25, 7/30, 8/27, 9/24, 11/26, 12/10, 12/27, 1/28, 2/25, 3/25
園芸療法 (園芸療法士)	年6回(不定期) 5/21, 7/16, 8/6, 8/20, 9/3, 2/18

※職員、ボランティア向け勉強会を開催

「温灸について」 2014/11/26

「アロマセラピーについて」 2014/10/10

※遺族会を開催

「ラベンダーの会(遺族会)」第3回 2014/10/23

※緩和ケア病棟 ボランティア会議を開催

第1回意見交換会 2014/5/22

第2回意見交換会 2014/11/6

※アロマセラピスト、鍼灸師は、病棟カンファ参加

※絵手紙は、H24年度～毎月第1月・第1木の2回活動

※アロマセラピーは6月より第4金→第2金に変更

※音楽療法は平成26年度～活動休止

※情熱のラブレターは、H23年度～活動休止

※抹茶は、H23年度～毎月の活動休止、イベント時協力あり

c 緩和ケア病棟作品展

表1 かわさき総合ケアセンター見学・実習等受け入れ件数

展示名	開催期間	対象		件数	人数
		院外	院内		
ガラスアート	4月	行政関係			
パステル画	6月	医療関係	医師	35	40
パステル画	9月		看護師	8	18
押し花絵	10月		その他	14	15
はがき絵	11月・12月	福祉関係			
みゆき中学校書道展	2月	一般	病院関係	3	16
			その他		
			報道		
計				60	89

※医学生

*他は常設展

表2 見学、電話相談、緩和ケア初診外来件数

区分	件数	月平均件数
患者・家族 見学件数	149	12.4
電話・面接相談件数	2426	202.2
緩和ケア初診外来件数	255	21.3
判定件数	469	39.1

表3 患者基礎（原発）疾患別入院患者数

基礎（原発）疾患名	件数
脳腫瘍（グリオーマ膠芽種・髄膜種・下垂体腺腫・神経鞘腫・頭蓋咽頭腫・血管芽腫）	1
頭頸部癌（鼻副鼻腔・口腔・咽頭・唾液腺・目・耳・舌）	20
甲状腺癌（乳頭・濾胞・髄様・未分化・悪性リンパ腫）	3
呼吸器癌（小細胞・非未分化・縦隔腫瘍）	57
食道癌	9
胃癌（胃・十二指腸・空腸）	20
大腸・小腸癌（上・横・下行結腸・直腸・盲腸）	38
肝癌（肝臓・胆嚢・胆道・胆管）	18
膵癌	33
腎癌	6
乳癌	17
子宮癌（子宮頸癌・子宮体癌・卵巣）	22
前立腺癌（膀胱・尿管・前立腺・睪丸・精巣・陰茎）	14
外陰・陰 絨毛	
皮膚癌	1
骨腫瘍・軟部腫瘍	2
血液（急性白血病・悪性リンパ腫）	3
血管肉腫	
原発不明癌	5
悪性神経鞘腫	
中皮腫	
H I V	
その他	2
不明	
計	271

表4 紹介医療機関別入院患者数

機関	件数
大学病院	61
国・県がんセンター	21
公立病院	16
準公立病院	2
労災病院	23
民間病院	26
医院・クリニック	8
院内	114
計	271

表5 緩和ケア病棟入院患者数

※院内転床ケース

年月	前月末患者数	新入院患者数	退院数				月末患者数	初診外来件数	
			在宅移行	死亡	※その他	計			
22年 4月～23年 3月		173	5	162	4	171		221	
23年 4月～24年 3月		196	11	181	4	196		238	
24年 4月～25年 3月		236	14	218	4	236		280	
25年 4月～26年 3月		245	7	235	3	245		264	
26年 4月～27年 3月		271	22	243	5	270		255	
内 訳	26年4月	18	20	2	16		18	20	17
	26年5月	20	28	1	28		29	19	24
	26年6月	19	19	2	19	1	22	16	23
	26年7月	16	26	2	18	1	21	21	25
	26年8月	21	23	3	24		27	17	16
	26年9月	17	18	2	14		16	19	18
	26年10月	19	29	2	27		29	19	23
	26年11月	19	23	2	21	1	24	18	24
	26年12月	18	21	1	21		22	17	22
	27年 1月	17	21		21	1	22	16	19
	27年 2月	16	19	2	15	1	18	17	24
	27年 3月	17	24	3	19		22	19	20
22年4月～27年3月合計		1,121	59	1,039	20	1,118		1,258	

表6 緩和ケア病棟稼働状況（稼働20床→H26/5～23床（工事中不能床含む）、再入院含）

年月	入院患者数	退院患者数 (うち死亡)		一日平均 入院患者数	平均病床 利用率	平均在院日数 (最小～最大)	初診外来数
22年 4月～23年 3月	173	171	162	18.9	94.6%	57.2 (1～318)	221
23年 4月～24年 3月	196	196	181	18.7	93.3%	35.0 (1～331)	238
24年 4月～25年 3月	236	236	218	18.2	90.8%	28.2 (1～365)	280
25年 4月～26年 3月	245	245	235	18.5	92.5%	27.7 (1～329)	264
26年 4月～27年 3月	271	270	243	18.7	82.3%	28.2 (1～239)	255
計	1121	1118	1,039				1,258

表7 緩和ケア病棟在院日数の分布

年月	入院患者数	入院日数別内訳				
		～6日	7～13日	14～29日	30～59日	60日～
22年 4月～23年 3月	173	39	16	46	36	36
23年 4月～24年 3月	196	37	36	58	37	28
24年 4月～25年 3月	236	62	44	63	39	28
25年 4月～26年 3月	245	64	59	60	43	19
26年 4月～27年 3月	271	74	64	64	47	22
計	1121	276	219	291	202	133

表8 緩和ケア病棟入院患者の住居地域

地域	22年	23年	24年	25年	26年	計	比率	入院患者 市内住		
	4月 ～23年 3月	4月 ～24年 3月	4月 ～25年 3月	4月 ～26年 3月	4月 ～27年 3月			区	入院者数	比率
川崎市	135	148	175	194	215	867	77.3%	川崎区	7	3.3%
横浜市	34	39	51	44	46	214	19.1%	幸区	17	7.9%
神奈川県	1	2	3	1	0	7	0.6%	中原区	70	32.6%
東京都	3	5	3	3	4	18	1.6%	高津区	60	27.9%
その他		2	4	3	6	15	1.3%	宮前区	34	15.8%
計	173	196	236	245	271	1,121	100.0%	多摩区	23	10.7%
								麻生区	4	1.9%
								計	215	100.0%

表9 入院患者の平均年齢

年月	性別		全体
	男性	女性	
22年 4月～23年 3月	74.1	68.9	71.6
23年 4月～24年 3月	71.0	71.1	71.1
24年 4月～25年 3月	72.0	71.2	71.7
25年 4月～26年 3月	72.5	70.7	71.6
26年 4月～27年 3月	71.9	73.2	72.5

表10 入院患者の性別年代別分布

年月		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代～	計
22年 4月 ～23年 3月	男性		1	1	1	8	12	33	27	7	90
	女性				2	7	13	19	20	3	83
	小計		1	3	8	21	31	52	47	10	173
23年 4月 ～24年 3月	男性				7	16	24	26	29	4	106
	女性			1	4	12	20	27	21	5	90
	小計	0	0	1	11	28	44	53	50	9	196
24年 4月 ～25年 3月	男性				6	16	31	51	31	7	142
	女性			2	6	17	11	27	22	9	94
	小計			2	12	33	42	78	53	16	236
25年 4月 ～26年 3月	男性				4	4	42	48	26	5	129
	女性			1	7	13	29	37	25	4	116
	小計			1	11	17	71	85	51	9	245
26年 4月 ～27年 3月	男性			1	5	14	34	47	42	2	145
	女性			1	8	6	28	39	39	5	126
	小計			2	13	20	62	86	81	7	271
22年 4月 ～27年 3月	男性計	0	1	2	23	58	143	205	155	25	612
	女性計	0	0	7	32	61	107	149	127	26	509
	合計	0	1	9	55	119	250	354	282	51	1,121

(2) 緩和ケア研修会

平成 25 年度に引き続き、地域がん診療連携拠点病院として、緩和ケア研修会と緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会を、5 月・7 月の日曜 2 日間及び隔月で第 3 木曜夜に計 7 回開催し、院内より 237 人、院外より 280 人、延べ 517 人の医師・医療従事者の参加を得ました。

緩和ケア研修会は、神奈川県単位型緩和ケア研修会、神奈川県医療従事者向け研修会として位置づけられており、平成 26 年度は医師 15 名、医療従事者 32 名が緩和ケア研修会修了証書の交付を受けました。

(3) かわさき在宅ケア・緩和ケア症例検討会

平成 25 年度に引き続き、かわさき在宅ケア・緩和ケア症例検討会を、隔月で第 3 木曜夜に計 5 回開催し、院内より 104 人、院外より 108 人、延べ 212 人の参加を得ました。今年度も在宅ケアや緩和ケアで関心の高いテーマを幅広く取り上げるとともに、院内、院外の講師の協力を得て、内容の充実を図りました。

表1 平成26年度「緩和ケア研修会」参加者数

		院外	院内	参加者
第1回-1	2014/5/25	36	27	63
第1回-2	2014/5/25	37	27	64
第1回-3	2014/5/25	36	32	68
第1回-4	2014/5/25	36	31	67
第2回-1	2014/7/6	30	20	50
第2回-2	2014/7/6	38	23	61
第3回	2014/7/17	12	14	26
第4回	2014/9/18	23	11	34
第5回	2014/11/20	16	14	30
第6回	2015/1/15	6	23	29
第7回	2015/3/19	10	15	25
合計		280	237	517

※単位型緩和ケア研修修了者

医師 14名(院内5名、院外9名)

※神奈川県医療従事者向け緩和ケア研修会修了者

医師以外 32名(院内6名、院外23名)

表2 平成26年度「かわさき在宅ケア・緩和ケア症例検討会」参加者数

		院外	院内	参加者
第1回	2014/6/19	26	14	40
第2回	2014/8/21	13	23	36
第3回	2014/10/16	41	28	69
第4回	2014/12/18	11	18	29
第5回	2015/2/19	17	21	38
合計		108	104	212

平成26年度「川崎市立井田病院 緩和ケア研修会」プログラム

「緩和ケア研修会」及び「緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会」

1 時間：緩和ケア研修会（日曜コース①～②）9：00～16：30

緩和ケアスキルアップ・フォローアップ研修会（夜間①～⑤）18：30～20：30

2 場所：川崎市立井田病院 新棟2階 会議室

3 研修対象者：医師 / 医療従事者

4 研修会企画責任者：宮森 正

5 プログラム：○必修項目（標準単位に該当）

△非必修項目（オリジナルプログラム、標準単位に非該当）

回	日時	テーマ	時間	担当者(予定)	役職・職種
第1回 緩和ケ ア研 修 会 (日曜 コース ①)	5月 25 日 (日)	*がん性疼痛の機序、評価及びWHO方式の がん性疼痛治療法の概略及び緩和ケアにお けるその他の課題 [講義] プレテスト/プレテスト解説 ○全人的な緩和ケアについての要点(総論) ○疼痛の評価 ○WHO方式がん性疼痛治療法 ○オピオイドの種類と特徴 ○オピオイドの副作用と対策	9:00 ～ 10:30 ○1.5h	宮森 正 宮森 正 山岸 正 西 智弘 西 智弘	医師 医師 医師 医師 医師
		*がん性疼痛の治療法の実際及び緩和ケア におけるその他の課題 [講義] プレテスト/プレテスト解説 ○ NSAIDS ○ 神経因性疼痛及び鎮痛補助薬 ○ 放射線療法や神経ブロックの適応も含 めた専門的な緩和ケアへの依頼の要点 ①緩和ケアの神経ブロック ②緩和ケアの放射線療法 ③緩和的化学療法	10:45 ～ 12:15 ○1.5h	西 智弘 宮森 正 狩野 真由美 石黒 浩史 西 智弘	医師 医師 医師 医師 医師
		*呼吸困難、消化器症状等の身体症状に対 する緩和ケア [講義] プレテスト/プレテスト解説 ○身体症状に対する緩和ケアの講義 ①呼吸困難 ②嘔気・嘔吐・消化管閉塞・輸液療法 ③がん患者の皮膚ケア・リンパ浮腫 ④がん患者の口腔ケア ⑤終末期の栄養ケア	13:15 ～ 14:45 ○1.5h	山岸 正 石黒 浩史 筒井 祥子 遠藤 友樹 北田 多絵	医師 医師 看護師 歯科医師 栄養士
		*不安、抑うつ及びせん妄等の精神症状に 対する緩和ケア [講義] プレテスト/プレテスト解説 ○精神症状に対する緩和ケアの講義 ①抑うつと希死念慮・せん妄 ②症例：抗精神病薬の使い方・症例 ③抗うつ剤・抗不安剤の薬理代謝製剤 ④抗精神病薬の薬理代謝製剤 ⑤症例：パニック・鬱の患者・家族の症例	15:00 ～ 16:30 ○1.5h	徳納 健二 徳納 健二 兼重 和美 兼重 和美 森 昭子	医師 医師 薬剤師 薬剤師 看護師

<p>第4回 緩和ケア スキルアップ・ フォローアップ 研修会 (夜間②)</p>	<p>9月 18日 (木)</p>	<p>△『緩和ケアのトピックス』 「告知の問題」 「終末期への自己決定」</p> <p>△『薬について』 「フェンタニルの薬理代謝製剤」</p> <p>△『緩和ケア症例』 「地域医療機関からの紹介で化学療法と 症状緩和を行った胃がん初発例」</p>	<p>18:30 ～ 20:30 △2.0h</p>	<p>宮森 正 安藤 孝</p> <p>今野 真紀子</p> <p>中村 暢宏</p>	<p>医師 医師</p> <p>薬剤師</p> <p>医師</p>
<p>第5回 緩和ケア スキルアップ・ フォローアップ 研修会 (夜間③)</p>	<p>11月 20日 (木)</p>	<p>△『緩和ケアのトピックス』 「臨死期から看取りの問題」 「がん患者の家族ケア」 「がん患者のグリーフケア」</p> <p>△『薬について』 「オキシコドンの薬理代謝製剤」</p> <p>△『緩和ケア症例』 「持続硬膜外ブロックにより疼痛緩和を 図り 在宅移行につなげた事例」</p>	<p>18:30 ～ 20:30 △2.0h</p>	<p>宮森 正 鈴木果里奈 鈴木果里奈</p> <p>加藤 啓文</p> <p>荒川 健一</p>	<p>医師 看護師 看護師</p> <p>薬剤師</p> <p>医師</p>
<p>第6回 緩和ケア スキルアップ・ フォローアップ 研修会 (夜間④)</p>	<p>1月 15日 (木)</p>	<p>△『緩和ケアのトピックス』 「がん末期におけるコミュニケーション ～がん患者のスピリチュアルケア ～」 「がん患者への代替療法」 「緩和ケアにおけるリハビリテーション」</p> <p>△『薬について』 「コデイン・ブプレノルフィン・トラマ ドール・ペンタゾシン・その他の薬理 代謝製剤」</p> <p>△『緩和ケア症例』 「家族的苦痛が問題であった症例」</p>	<p>18:30 ～ 20:30 △2.0h</p>	<p>石丸 治男</p> <p>深井 清乃 植松 豊子</p> <p>荻原 あい</p> <p>濱田 なみ子</p>	<p>心理士</p> <p>看護師 理学療法 士</p> <p>薬剤師</p> <p>医師</p>
<p>第7回 緩和ケア スキルアップ・ フォローアップ 研修会 (夜間⑤)</p>	<p>3月 19日 (木)</p>	<p>△『緩和ケアのトピックス』 「がん患者の鎮静・DNR・倫理」 「鎮静について」</p> <p>△『薬について』 「最近の薬剤について」</p> <p>△『緩和ケア症例』 「悪性腸腰筋症候群をきたした尿管癌の 一例」 ～全人的苦痛のケアの視点から～</p>	<p>18:30 ～ 20:30 △2.0h</p>	<p>安藤 孝 宮森 正</p> <p>小川 泰彦</p> <p>村瀬樹太郎</p>	<p>医師 医師</p> <p>薬剤師</p> <p>医師</p>

平成26年度「かわさき在宅ケア・緩和ケア症例検討会」プログラム

1. 時間：18：30～20：30
2. 場所：川崎市立井田病院 新棟2階 会議室
3. 参加対象者：医療従事者、福祉・介護関係者等で在宅ケア・緩和ケア従事者
及び関心のある方
4. プログラム日程表：

回	日時	テーマ	時間	担当者	職種
第1回 在宅ケア・緩和ケア症例検討会	6月19日 (木)	テーマ『非がんの緩和ケア』 ・症例検討「非がん緩和ケアの一症例」 ・講演「がんを持たない方の緩和ケア」 ・ディスカッション	18:30 ～ 20:30	村瀬 樹太郎 大石 愛 (慈恵医科大学 臨床疫学研究室)	医師 医師
第2回 在宅ケア・緩和ケア症例検討会	8月21日 (木)	テーマ『老年症候群：認知症を中心に』 ・症例検討「在宅認知症の一症例」 ・講演「老年症候群のケアと課題：認知症を中心に」 ・ディスカッション	18:30 ～ 20:30	濱田 なみ子 大蔵 暢 (東京ミッドタウン クリニック)	医師 医師
第3回 在宅ケア・緩和ケア症例検討会	10月16日 (木)	テーマ『摂食嚥下障害』 ・症例検討・講演「摂食障害とNST・嚥下連絡票」 ・講演「高齢者リハビリテーション栄養と摂食嚥下リハ」 ・ディスカッション	18:30 ～ 20:30	鈴木 英哲 (川崎南部摂食 嚥下・栄養研究 会 /愛仁歯科医院) 若林 秀隆 (横浜市立大学 附属市民総合医 療センターリハビ リテーション科)	歯科 医師 医師
第4回 在宅ケア・緩和ケア症例検討会	12月18日 (木)	テーマ『がんの在宅ケア』 ・症例検討「がんの在宅ケアを考える1症例」 ・講演「がんの在宅ケアにおける課題」 ・ディスカッション	18:30 ～ 20:30	西 智弘 宮森 正	医師 医師
第5回 在宅ケア・緩和ケア症例検討会	2月19日 (木)	テーマ『褥瘡のケア』 ・症例検討「褥瘡の在宅ケアを考える」 ・講演「最近の褥瘡ケアと予防」 ・ディスカッション	18:30 ～ 20:30	守谷 朱美 大溝 茂美 (WOC看護認定 看護師)	看護師 看護師

(4) 在宅ケア・医療相談部門

医療相談では、特に、後期高齢者、超高齢者が増加しており、必然的に、高齢独居、老老世帯、認知症世帯、日中独居などの激増がみられ、退院支援の難度が高まっていますが、ケースワーカーは、地域包括ケアの立場から、地域の資源を活用して在宅移行へ問題解決するように努力しています。

施設からの入院患者の場合は、入院により、医療依存度が高まると、退院後の受け入れが困難となる場合もあり、退院先の確保に苦労する例も増加しています。

24時間連携診療体制は、地域の医療機関と患者の安全安心な在宅ケアを支援することが出来ます。地域医師会の在宅患者を支える体制となっています。

在宅ケア患者は、182例と増加、うち、がん患者は116例63.7%でした。在宅ケア患者の死亡例は121例です。当院からの在宅ケアは、重症・終末期などの医療依存度の高い在宅ケアを行う基本の方針となっています。在宅看取りは63例、緩和ケア病棟に入院後死亡45例、一般病棟入院死亡は13例となっており、在宅終末期ケアを中心とした診療・看護を行っています。当院では、一般病棟、ケアプラン病床、在宅ケア部門、緩和ケア病棟との連携の中で、がん、非がんに拘らず、終末期ケアを確保することが出来ます。このために、地域の看護、介護担当者とも、良好で円滑な協力体制を作り上げています。

(文責 ケアセンター所長 宮森 正)

ア. 医療相談

表1-1 MSW取り扱い実数

新規実数		依頼票あり	依頼票なし	合計
			1240	116
内訳	在宅へ調整	782	/	/
	他施設転院	388		
	社会福祉諸制度・医療費	50		
	その他	20		

表1-2退院支援計画書作成数
(入院7日以内介入)

転院	33
施設	71
在宅	192
死亡	39
合計	335

表2-1 相談数

	MSW	
	相談実数	相談延数
4月	117	1435
5月	98	1193
6月	103	1308
7月	121	1360
8月	97	1266
9月	105	1295
10月	100	1486
11月	98	1219
12月	120	1388
1月	153	1465
2月	113	1538
3月	131	1477
合計	1356	16430

表2-2 地域がん診療連携拠点病院がん相談支援センター相談数

	MSW				看護職				がん相談員				合計			
	実数		延数		実数		延数		実数		延数		実数		延数	
	院内	院外	院内	院外	院内	院外	院内	院外	院内	院外	院内	院外	院内	院外	院内	院外
4月	57	2	483	2	9	0	9	0	16	11	19	11	82	13	511	13
5月	48	1	365	1	1	0	1	0	18	24	18	29	67	25	384	30
6月	43	3	331	3	3	0	3	0	15	9	15	9	61	12	349	12
7月	49	3	346	3	8	0	8	0	17	13	17	15	74	16	371	18
8月	46	1	354	1	2	0	2	0	11	16	11	22	59	17	367	23
9月	37	1	276	1	7	0	7	0	14	21	14	25	58	22	297	26
10月	51	6	338	6	8	0	8	0	15	11	15	11	74	17	361	17
11月	45	2	322	2	7	0	7	0	18	15	18	15	70	17	347	17
12月	43	1	370	1	8	0	8	0	9	19	9	24	60	20	387	25
1月	55	2	369	2	6	0	6	0	7	7	7	7	68	9	382	9
2月	42	2	356	2	10	0	10	0	25	23	25	23	77	25	391	25
3月	42	3	342	3	10	0	10	0	29	14	29	15	81	17	381	18
合計	558	27	4252	27	79	0	79	0	194	183	197	206	831	210	4528	233

表3 MSW援助方法(延べ数)

		在宅	外来	入院	他	連携	合計
医療相談	面接	25	212	5035	15	0	5287
	電話	51	640	9638	199	1	10529
	訪問	1	0	1	0	0	2
	文書	1	17	511	5	0	534
ケアマネジメント	面接	11	0	3	0	0	14
	電話	45	0	3	1	0	49
	訪問	14	0	0	0	0	14
	文書	1	0	0	0	0	1
合計		149	869	15191	220	1	16430

表4 MSW援助内容(延べ数)

内容	
受療・療養援助	74
転院・他施設紹介援助	2111
経済的援助	39
受診援助	70
在宅退院への援助	2322
心理的情緒的援助	36
福祉制度活用援助	307
関係機関連絡調整	7771
病状・新ケース把握	155
家族支援 精神的心理的	141
在宅介護保険サービス活用援助	72
その他	142
院内調整	3190
計	16430

表5 24時間連携登録医院・患者数

医院名	患者数
日横クリニック	86
リッツクリニック	1
新吉田医院	4
豊崎医院	4
中島クリニック	3
宮崎医院	4
綾部内科クリニック	4
松本クリニック	7
たかみざわ医院	5
福住医院	28
信愛ホームケアクリニック	2
上杉クリニック	3
合計	151

表6 川崎市在宅障害児者短期入所事業(ショートステイ)利用状況

実数	延数	延入院日数 (平均)	地区別						障害等級				利用理由			
			川崎	幸	中原	高津	宮前	多摩	麻生	1級	2級	3級	4級	社会的	私的	
3	16	6.3		16						16						16

イ. 在宅ケア（訪問診療・訪問看護）

表1 訪問診療件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H23年度	106	117	124	98	121	127	116	109	109	93	121	136	1377
H24年度	144	127	112	133	183	173	138	195	137	129	163	161	1795
H25年度	139	185	131	172	193	160	122	129	147	101	101	150	1730
H26年度	123	128	106	146	140	137	147	133	146	132	129	184	1651

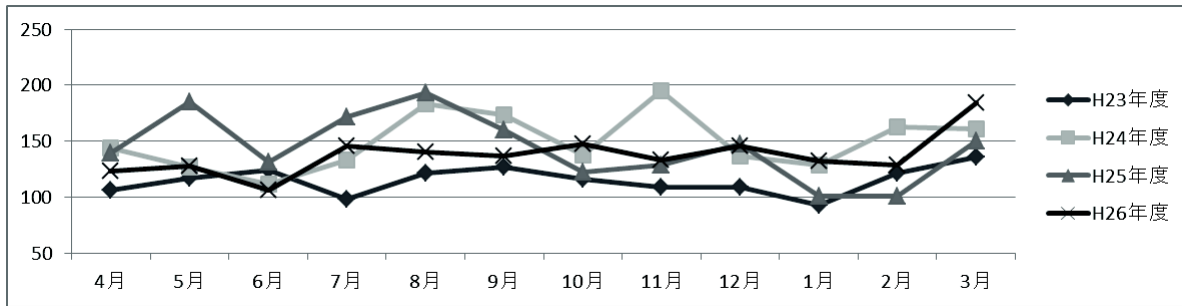


表2 訪問看護件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H23年度	43	54	85	86	85	64	66	73	82	78	79	67	862
H24年度	68	65	43	42	49	47	42	53	42	40	42	47	580
H25年度	45	50	42	41	72	43	60	61	48	43	36	50	591
H26年度	43	41	45	69	58	48	52	36	40	38	39	38	547

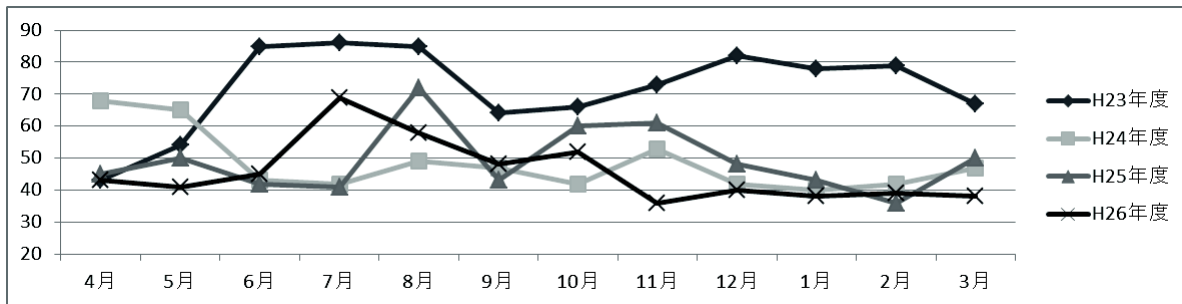


表3 往診患者実数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H23年度患者実数	47	52	54	50	62	59	58	58	52	52	56	52	134
H23年度がん患者数	13	16	19	15	25	25	24	24	20	21	23	19	73
H23年度がん患者比率	27.7%	30.8%	35.2%	30.0%	40.3%	42.4%	41.4%	41.4%	38.5%	40.4%	41.1%	36.5%	54.5%
H24年度患者実数	45	51	49	48	63	70	60	62	60	63	71	69	171
H24年度がん患者数	18	20	17	17	25	29	25	26	30	33	37	32	101
H24年度がん患者比率	40.0%	39.2%	34.7%	35.4%	39.7%	41.4%	41.7%	41.9%	50.0%	52.4%	52.1%	46.4%	59.1%
H25年度患者実数	55	56	49	49	51	48	45	54	54	47	47	50	155
H25年がん患者数	24	21	18	19	19	19	18	25	25	27	20	24	101
H25年がん患者比率	43.6%	37.5%	36.7%	38.8%	37.3%	39.6%	40.0%	46.3%	46.3%	57.4%	42.6%	48.0%	65.2%
H26年度患者実数	44	44	44	49	50	48	49	46	51	51	50	55	182
H26年がん患者数	19	18	16	21	22	22	22	19	21	22	21	27	116
H26年がん患者比率	43.2%	40.9%	36.4%	42.9%	44.0%	45.8%	44.9%	41.3%	41.2%	43.1%	42.0%	49.1%	63.7%

表4 訪問看護患者実数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H23年度患者実数	14	17	21	17	21	19	18	18	16	16	15	13	37
H23年度がん患者数	7	10	13	9	12	10	9	9	8	9	7	7	27
H23年度がん患者比率	50.0%	58.8%	61.9%	52.9%	57.1%	52.6%	50.0%	50.0%	50.0%	56.3%	46.7%	53.8%	73.0%
H24年度患者実数	17	17	16	18	22	21	19	16	16	17	20	16	40
H24年度がん患者数	4	5	5	6	7	7	7	5	5	6	8	6	26
H24年度がん患者比率	23.5%	29.4%	31.3%	33.3%	31.8%	33.3%	36.8%	31.3%	31.3%	35.3%	40.0%	37.5%	65.0%
H25年度患者実数	8	10	8	8	10	7	10	11	8	8	7	9	38
H25年度がん患者数	5	5	4	5	6	5	6	6	4	3	3	4	30
H25年度がん患者比率	62.5%	50.0%	50.0%	62.5%	60.0%	71.4%	60.0%	54.5%	50.0%	37.5%	42.9%	44.4%	78.9%
H26年度患者実数	7	6	12	12	11	10	11	9	8	8	10	10	36
H26年度がん患者数	3	4	6	6	5	6	7	4	4	2	3	5	26
H26年度がん患者比率	42.9%	66.7%	50.0%	50.0%	45.5%	60.0%	63.6%	44.4%	50.0%	25.0%	30.0%	50.0%	72.2%

表5 受け入れ会議実施患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H23年	9	6	7	5	13	9	5	10	4	4	15	10	97
H24年	7	11	6	10	21	12	9	15	13	9	12	7	132
H25年	15	13	10	7	11	8	10	16	8	7	5	7	117
H26年	10	10	11	17	8	18	19	12	11	12	16	12	156

表6 受け入れ会議実施患者数中の往診実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H23年	9	6	6	5	13	8	5	10	4	4	14	6	90
H24年	7	5	5	8	19	12	7	12	12	7	10	6	110
H25年	10	10	8	6	7	8	10	16	7	4	5	6	97
H26年	6	9	11	14	6	18	12	9	9	12	16	10	132

表7 受け入れ会議実施患者数中のがん患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H23年	6	5	5	3	11	7	2	5	3	3	11	7	68
H24年	7	5	2	7	15	9	7	11	13	6	11	5	98
H25年	11	9	7	5	7	8	10	14	5	5	3	6	90
H26年	10	7	8	11	6	14	13	8	10	7	14	10	118

表8 夜間・休日往診件数総数(平日日中以外の総数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H23年	16	23	27	36	27	32	27	21	30	24	44	34	341
H24年	31	20	19	28	35	21	22	39	15	24	32	29	315
H25年	26	48	21	31	38	26	20	17	30	11	5	30	303
H26年	24	34	10	20	24	24	17	12	16	13	17	23	234

表9 夜間往診件数(17:00~8:30の往診件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H23年	9	15	15	21	16	22	8	14	15	18	30	17	200
H24年	17	10	7	18	20	16	7	15	4	13	17	13	157
H25年	19	36	17	18	26	16	14	14	19	6	3	25	213
H26年	17	18	8	10	15	18	12	8	10	11	14	18	159

表10 土日・休日往診件数(土日休日の8:30~17:00の往診件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H23年	7	8	12	15	11	10	19	7	15	6	14	17	141
H24年	14	10	12	10	15	5	15	24	11	11	15	16	158
H25年	7	12	4	13	12	10	6	3	11	5	2	5	90
H26年	7	16	2	10	9	6	5	4	6	2	3	5	75

表11 在宅見取り患者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H23年度	1	3	1	1	4	6	3	3	1	2	3	6	34
H24年度	1	2	3	4	2	7	0	7	5	1	5	5	42
H25年度	6	6	2	5	5	12	2	2	3	3	2	8	56
H26年度	3	3	4	5	7	9	6	4	6	4	5	7	64

表12 在宅看取り件数推移

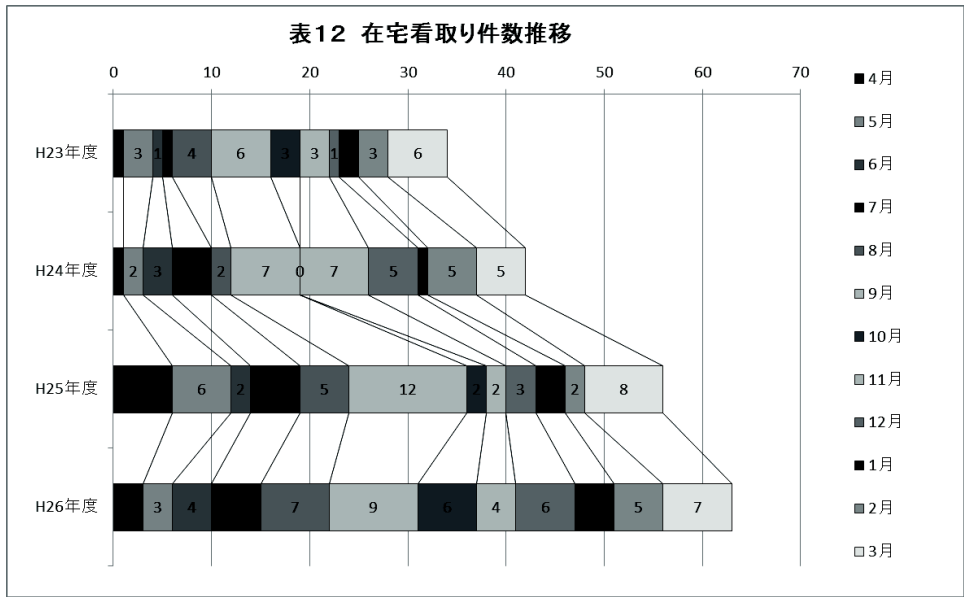


表13 月別患者実数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数
患者実数	44	44	44	49	50	48	49	46	51	51	50	55	183
がん	19	18	16	21	22	22	22	19	21	22	21	27	117
非がん	25	26	28	28	28	26	27	27	30	29	29	28	66

表14 性別

男性	112
女性	71
計	183

表15 主病名のがんの有無

がん	117
非がん	66
計	183

表16 主な診断・治療病院

当院	99
他院	73
未治療	10
複数病院で	1
計	183

表17 在宅への導入ルート

外来から	68
入院から	86
他院から	21
その他	8
計	183

表18 居住区

川崎区	0
幸区	11
中原区	65
高津区	52
宮前区	12
港北区	43
その他	0
計	183

表19 主な介護者

配偶者	93
子	61
子の配偶者	5
親	7
兄弟	1
孫	2
その他	1
介護者なし	13
介護者不要	0
計	183

表20 自立度

J	3
A	16
B	111
C	53
計	183

(訪問診療導入時)

表21 介護度

要介護5	47
要介護4	35
要介護3	20
要介護2	25
要介護1	14
要支援2	5
要支援1	3
申請中	9
申請せず	11
区変中	4
不明	10
計	183

(在宅開始時または取得時)

表22 終了患者の在宅期間集計

n=125

在宅期間	全患者	がん	非がん	在宅見取り
1~29	86	67	19	35
30~89	31	25	6	15
90~179	14	9	5	8
180~	12	3	9	5
計(人)	143	104	39	63
平均(日)	94.8	39.5	242.5	65.5
最長(日)	2983	351	2983	757
最短(日)	1	1	1	1

表23 患者実数中疾患内訳

悪性腫瘍	118
脳神経疾患	10
呼吸器疾患	14
循環器系疾患	9
腎泌尿器疾患	6
認知症精神疾患	3
消化器肝胆道系疾患	6
内分泌代謝系疾患	1
膠原病	3
筋骨格系結合組織疾患	2
老衰・廃用性症候群	8
損傷,中毒およびその他の外因の影響	0
家族	1
その他	2
計	183

表24 在宅終了内訳(3月末日時点)

在宅看取り	63
PCUで永眠	45
4東で永眠	6
一般(ICU含む)で永眠	7
入院中	8
その他	16
往診継続中	38
計	183

表25 主な医療処置

医療処置なし	50
バルンカテーテル	23
GE・摘便	21
皮下点滴	21
吸引	18
褥瘡	13
創傷処置	11
その他	11
胃瘻・経管	8
CVポート	8
CSI	6
ストマ・ウロストミー	2
膀胱洗浄	1
気管切開	1
人工呼吸器	0
計	194

(複数項目あり)

表26 在宅指導料

管理指導料なし	56
寝たきり指導管理料(1,050点)	47
HOT(2,500+4,000+880+300点)	38
がん性疼痛:麻薬使用(200点)	34
CV(3,000+1,250+2,000点)	8
在宅悪性腫瘍:CSI(1,500+300点)	6
その他:腹膜透析(4,000+2,500点)	2
自己注射:インスリン(820+400~1,500点)	0
計	191

(複数項目算定あり)

表27 訪問看護担当内訳

当院	34
外部事業所	105
当院と外部事業所	1
訪問看護導入なし	43
計	183

エ 患者家族満足度調査報告

配布 訪問診療・・・27人、訪問看護・・・6人、ケアマネ・・・1人

回収(回収率) 訪問診療・・・22人(81.5%)、訪問看護・・・5人(83.3%)、ケアマネ・・・1人(100%)

記載者 本人・・・2枚、家族・・・19枚、無記入・・・1枚

図1 訪問看護(N=5)

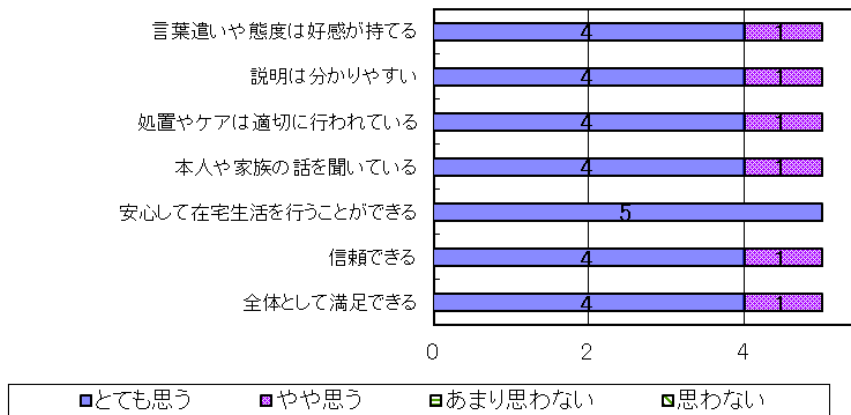


図2 訪問診療(N=22)

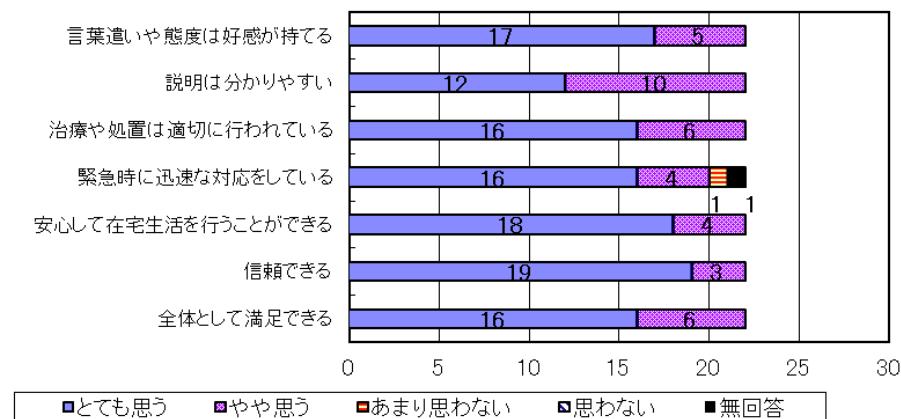
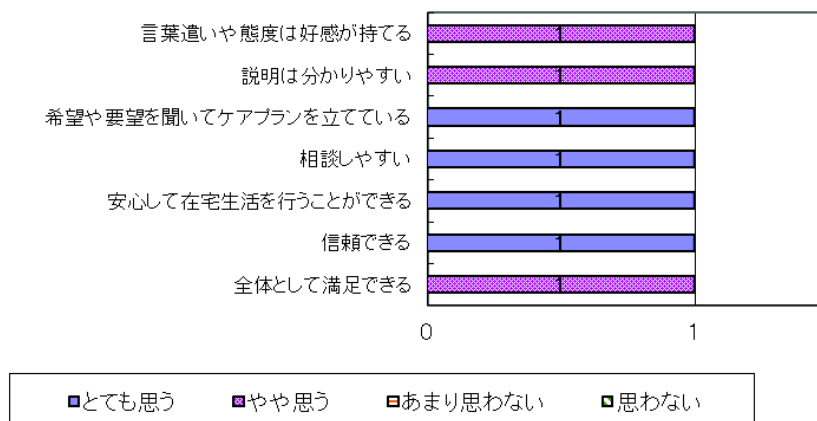


図3 ケアマネージメント(N=1)



(5) がん相談支援センター

がん相談支援センターでは、がん相談やがんサロンの開催、セカンドオピニオンの申込受付等を行っています。セカンドオピニオンは 2014 年度は他院から当院に 13 名の相談があり、9 名受診されています。

(6) 井田デイサービスセンター

井田デイサービスセンターは、川崎市指定管理者制度に基づき、事業所管理、運営に関する事項を社会福祉法人和楽会が委託を受け、介護保険法に位置づけられる通所介護事業を行っています。

2014 年度もデイサービスご利用の皆様にアンケート調査を行い、サービスの向上、満足度の向上に努めました。

また、奇数月の第一土曜日にいだ包括支援センターと協力し、地域の方々へ向けた落語カフェの実施を行いました。

次年度もご利用者様、ご家族様の声に耳を傾けるとともに、地域包括ケアシステムに向けより地域の方々へ何が求められているのかをしっかりと把握し、在宅サービスの一員として生活支援の役割をしっかりと果たすよう取り組んでいきます。

① 利用状況

「延べ利用者数」は 5,660 名（前年比 104%）、1 日当たりの平均利用人数 22.1 名で前年度に比べ、利用者数はやや増加傾向にあります。今後も、川崎市中原区の居宅介護支援事業所へ新規利用者募集案内や新規利用者受け入れを積極的に行っていきます。

② ボランティア・実習生受け入れ

ボランティア なかよし会・有志会・オカリーナたちばな・院内ボランティアセントポーリア

職業体験実習 川崎市立井田中学校・川崎市立東橋中学校

在宅看護実習 川崎看護専門学校

（文責 井田デイサービスセンター 五島 寛泰）

平成26年度 井田デイサービスセンター 利用状況

・利用者実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	31	29	27	27	25	27	27	29	26	27	26	25	326
女	45	46	44	46	44	48	44	44	44	41	39	40	525
合計	76	75	71	73	69	75	71	73	70	68	65	65	851

・利用者延人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	200	210	174	184	154	183	178	170	174	157	172	177	2133
女	306	301	301	336	289	330	324	281	263	265	260	271	3527
合計	506	511	475	520	443	513	502	451	437	422	432	448	5660

・平均要介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
男	2.1	2	1.9	1.9	2	2	2.1	2.2	2.1	2.2	2.2	2.3	2.1
女	1.8	1.9	1.8	1.7	1.8	2	1.9	1.9	1.9	1.8	1.9	1.9	1.9
平均	1.95	1.95	2.1	1.8	2.1	2.1	2.1	2.05	2.1	2	2.05	2.1	2

平均年齢/要支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
男	83.6	83.7	84.7	84.8	84.9	84.5	85.1	85.2	85.2	85.1	85.2	85.3	84.8
女	84.9	87.4	87.4	86.7	86.8	86	86.2	86.3	86.4	86.5	87.1	87.5	86.6
平均	84.25	85.6	85.6	85	85.85	85.25	85.65	85.3	85.6	85.8	84.3	86.4	85.7

平均年齢/要介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
男	79.5	79.5	79.8	79.2	77.3	78.9	78.6	79.4	81	81.1	83.1	83	80
女	85.4	83.8	85.6	86	86.4	86.7	87.9	88	89.3	89.9	90	89.6	87.4
平均	82.45	81.65	82.7	82.6	81.85	82.8	83.25	83.7	85.15	85.5	86.55	86.3	83.7

実施日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
合計	22	22	21	23	21	22	23	20	20	20	20	22	256

平均利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
	23	23.2	22.6	22.6	21	23.3	21.8	22.6	21.6	21.1	21.6	20.4	22.1

・地域別利用者数

	幸区	中原	高津	宮前	横浜	その他	
	0	47	15	1	1	0	64

・介護度別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支援1	29	33	35	46	38	33	32	30	33	31	34	33	407
支援2	90	79	69	71	65	64	62	57	53	45	32	41	728
介護1	109	132	115	137	100	110	98	92	98	93	107	127	1318
介護2	106	100	109	104	100	124	132	115	107	105	112	103	1317
介護3	64	66	60	63	53	76	67	72	47	50	39	32	689
介護4	58	54	37	47	45	61	70	56	65	61	71	72	697
介護5	50	47	50	52	42	45	41	29	34	37	37	40	504
合計	506	511	475	520	443	513	502	451	437	422	432	448	5660

・行事実施状況

4月	花見・作品作り・誕生会・体重測定・リハビリ体操・嚥下体操
5月	紙相撲大会・誕生会・体重測定・リハビリ体操・嚥下体操
6月	運動会・流しそめん・誕生会・体重測定・リハビリ体操・嚥下体操
7月	七夕まつり・ところてん作り・誕生会・体重測定・リハビリ体操・嚥下体操
8月	納涼祭・誕生会・体重測定・リハビリ体操・嚥下体操
9月	敬老会・室内ゲーム・誕生会・体重測定・リハビリ体操・嚥下体操
10月	いもようかん作り・室内ゲーム・誕生会・体重測定・リハビリ体操・嚥下体操
11月	書道教室・室内ゲーム・誕生会・体重測定・リハビリ体操・嚥下体操
12月	クリスマス会・室内ゲーム・誕生会・体重測定・リハビリ体操・嚥下体操
1月	新年会・室内ゲーム・誕生会・体重測定・リハビリ体操・嚥下体操
2月	歌合戦・おやつ作り・誕生会・体重測定・リハビリ体操・嚥下体操
3月	ひなまつり・室内ゲーム・誕生会・体重測定・リハビリ体操・嚥下体操

(7) 井田居宅介護支援センター

介護保険制度は、平成12年4月に開始され、在宅サービスを中心にサービス利用が急速に拡大するなど、老後の安心を支える仕組みとして定着しています。介護保険の中の居宅介護支援業務は、介護認定を受けた方が住み慣れた地域・ご自宅で自立した生活ができるよう、医療との連携やインフォーマルなサービスの紹介、必要な介護サービスを調整することを主な業務として行っております。

今年4月に介護保険改正の大幅な見直しがあり、「特別養護老人ホーム」入所は要介護3以上、8月から所得が一定以上だと利用者の自己負担は2割になるなどご利用者様には厳

しい変更となりました。

井田居宅介護支援センターでは現在、介護支援専門員（ケアマネジャー）が三人体制で業務を行っています。H26年7月から特定事業所加算を取得し、質の向上のための話し合いを定期的に行うこと、体制の確立、職員の計画的な研修、24時間連絡体制のなどを行うことが要件となっております。

私たちは今後とも、ご利用者様やご家族様に対して、よりよいサービスを受けて頂ける様に職員の質の向上を目指して日々努力してまいります。

（文責 井田居宅介護支援センター 佐藤 幸二）

平成26年4月～平成27年3月
井田居宅介護支援センター介護計画作成・給付管理実績数

介護度別給付管理者数 (単位:人)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	56	33	17	11	7	124
5月	35	25	15	11	5	91
6月	41	26	16	12	5	100
7月	39	26	16	10	8	99
8月	39	27	15	8	8	97
9月	37	31	14	8	8	98
10月	36	36	13	8	10	103
11月	35	36	12	6	10	99
12月	32	30	15	6	9	92
1月	28	32	18	7	9	94
2月	35	30	17	8	10	100
3月	35	29	16	8	11	99
合計	448	361	184	103	100	1,196

地域別給付(要介護)管理者数 (単位:人)

川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	市内合計
		489	706				1195

横浜市	その他県内	東京都	その他	市外合計
1				1

年齢構成別給付管理者数

(単位:人)

	～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳～	合計
4月	2	7	9	19	34	28	25	124
5月	2	5	9	13	23	19	20	91
6月	1	7	12	13	22	20	25	100
7月	2	7	9	14	20	19	28	99
8月	2	7	10	14	20	19	25	97
9月	2	6	11	13	19	20	27	98
10月	1	6	11	12	22	22	29	103
11月	3	6	11	13	21	19	26	99
12月	2	4	9	13	20	17	27	92
1月	2	6	9	13	20	18	26	94
2月	2	5	10	15	22	17	29	100
3月	2	5	9	15	21	19	28	99
合計	23	71	119	167	264	237	315	1,196

(8) いだ地域包括支援センター

地域包括支援センターは、高齢者の身近な相談窓口として川崎市から委託を受けた公的な相談機関です。設置されてから9年が過ぎました。

高齢者が住みなれた地域で、尊厳あるその人らしい生活を継続できることを目指し、その実現のために、できる限り要介護状態にならないように「介護予防サービス」を適切に実施するとともに、要介護状態になっても高齢者のニーズや状態の変化に応じて必要なサービスが切れ目なく提供される、「包括的かつ継続的なサービス体制」の確立を目指してきました。

地域の方との顔の見える関係づくりを意識して井田病院内で引き続き出張相談や各サロンへの参加、ひとり暮らし暮らしの会食等へ積極的に参加してきました。

そして、地域包括支援センターの存在を地域のたくさんの方に知っていただくことを目的に、広報誌『いだなか便り』を作成し地域の方に配布しております。

また、認知症になっても『安心して暮らせる街』を目指して、地域の方、高齢者、子供たち等たくさんの方に認知症を知っていただくための活動にも力を入れてきました。

・ 地域からの実態把握

相談者	相談件数	相談者	相談件数
本人から	1127	保健福祉センターから	31
本人の家族、親族から	938	民生委員、町会、自治会から	31
介護支援専門員から	301	他地域包括支援	8
サービス事業者から	224	高齢・障害支援課	47
医療機関から	111		

・介護予防サービス・支援計画の作成数

要介護高齢者に対して、自立して生活や要介護状態がさらに悪化することが無いように対象者の実態把握を行い必要に応じて適切な介護予防サービス、支援計画の作成を行いました。

〈2014年度介護予防サービス作成数〉

対象者状況	件数	支援計画作成件数	
介護予防サービス、支援計画	2,385件	直営 1,005件	委 1,380件

〈定期的に行っている活動〉

1. よりあい処美知〈毎月〉
2. 井田憩いの家で行っているひとり暮らしの会食会の方を対象に希望者のみ
 血压測定、健康相談。〈2ヶ月に1回〉
3. 下小田中北島公園体操
 公園体操に参加。情報提供。〈4月～12月の隔月に1回〉
4. 『いだなか便り』発行 年3回 活動紹介・情報提供等
5. 歌声喫茶〈2ヶ月に1回〉
6. 健康麻雀朱雀〈2ヶ月に1回〉
7. 健康麻雀朱雀式番館〈2ヶ月に1回〉
8. 落語カフェ〈毎月1回〉
9. 落語カフェ井田〈2ヶ月に1回〉

〈個別活動〉

- 井田病院の窓口で出張介護相談。〈適宜〉
- 井田病院のイベント看護の日に参加。 (5月)
 ポスターを作成し地域包括支援センターの周知。
- 介護予防教室 シルバーハウジング対象 (7月・2月)
 介護予防体操
- 介護予防教室 オアシス井田対象 (8月・1月)
 介護予防体操
- 介護者教室 生き生きライフセミナー (10月2回・11月)
- 第2共和会健康講和参加 認知症サポーター養成研修 (1月)
- 下小田中4丁目町会敬老会へ参加 (9月)
- ごうじいこいの家一人暮らし会食会参加 (11月)
- 住吉社協保健福祉部成年後見人制度研修 (11月)
- オアシス井田運営推進会議参加 (6月・10月・2月)
- グループホーム愛の家運営推進会議参加 (6月・8月・10月・12月・3月)
- 川崎看護学校実習生受け入れ (5月・7月・9月)
- 特別養護老人ホームせせらぎ運営推進会議参加 (5月・9月・11月・2月)
- グループホーム中原推進会議参加 (6月・10月・1月・3月)
- 中原区地域福祉計画説明会参加 (年2回)

- 区内全体の活動
- ・なかはら福祉まつりに参加 (11月)
 - ・地域ケア全体会研 (7月・10月・1月・3月)
 - ・高齢者虐待事例検討 (5月・1月)
 - ・パンジー体操普及活動 (5月)
 - ・中原区地域包括支援センター運営協議会参加 (7月・2月)
 - ・認知症サポーター養成講座 (10月2回・11月・2月)
 - ・中原区在宅医療推進会議 (2月)
 - ・中原区3団体共通ツール勉強会 (8月)
- 定期的な会議参加
- ・中原区地域包括支援センター連絡会議 月1回
 - ・川崎市地域包括支援センター連絡会議 月1回
 - ・中原区課題別ワーキング
 - ① 高齢者虐待事例検討会
 - ② 3団体共通ツール作成
 - ③ 小学生向け認知症サポーター養成講座
 - ・いだ地域包括ケア会議 年3回
 - ・中原区地域福祉推進検討会議 年2回

<2014年度> 実績管理表

番号	介護目標	重点施策（活動計画）
1-1	川崎市地域包括支援センター運営事業実施要綱に基づき、質の高いサービスが提供できるようにします。	<p>【専門知識向上のため各種研修会への参加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川崎市地域包括支援センター連絡会 10回 ・その他 ①労働災害防止講習会(6/18) ②川崎市地域包括支援センター職員新任研修(6/2) ③ソーシャルワーク実践研修(7/24) ④介護支援専門員更新研修(9/1・9/10・9/30) ⑤利用者の自立に向けた目標指向型支援に向けて(1/13) ⑥コーチング研修(10/29) ⑦成年後見人制度研修(10/30) ⑧地域包括支援センター現任研修(10/29) ⑨ファシリテーション研修(11/19) ⑩個の支援活動から地域へ広げるアプローチ研修(2/13)

2	<p>高齢者が住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活を継続することができるよう以下の業務を円滑に遂行し、ご利用者、ご家族等、及び関係機関との信頼関係を築きます。</p> <p>1)介護予防事業に関するケアマネジメント業務 2)介護保険外のサービスを含む、高齢者や家族に対する総合相談支援業務 3)権利擁護業務 4)包括的・継続的ケアマネジメント業務</p>	<p>【ご利用者に対し適切な支援プランを作成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防サービス、支援計画表作成 319件 ・サービス担当者会議の開催 130件 ・サービス担当者会議への参加 115件 <p>【総合相談支援業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数 2,329件 訪問件数 970件 <p>3【権利擁護相談数】 成年後見 22件</p> <p>4【包括的・継続的ケアマネジメント業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員への支援・研修会を開催
3	<p>定期的にモニタリング及び評価を行います。</p>	<p>【問題解決への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防支援、サービス評価表作成
4	<p>地域に根ざした支援活動を行います。</p>	<p>【各機関との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア連絡会に参加。 ・ボランティア団体等地域のインフォーマル団体への支援。 ・井田病院相談窓口 ・ひとり暮らし会食会参加。 ・よりあい処美知 ・歌声喫茶 ・健康麻雀朱雀 ・健康麻雀朱雀式番館 ・落語カフェ ・落語カフェ井田
5	<p>川崎市の委託費と予防給付の収益を川崎市地域包括支援センター運営事業実施要綱に基づき、有効活用します。</p>	<p>【26年度介護給付費】</p> <p>介護予防プラン件数 2,385件</p> <p>介護給付費 5,941,423円</p>

(文責 いた地域包括支援センター センター長 横山 正太)

(9) 社団法人川崎市看護協会立訪問看護ステーション井田

訪問看護ステーション井田は、平成10年10月に行政からの要望でかわさき総合ケアセンター内に開設し16年が経過しました。

この16年間、川崎市立井田病院をはじめ、地域の医療機関や居宅介護支援事業所から訪問看護に関する相談や依頼を頂き、訪問看護サービスを実施してきました。

職員数は、現在常勤看護師4名、非常勤看護師6名と非常勤の事務職員1名です。

近年は時代のニーズにあった在宅医療を推進するため、24時間対応、ターミナルケア、重症度の高い患者の受け入れ、介護保険の居宅介護支援事業所の設置等の機能強化型の訪問看護ステーションをめざし、職員体制や居宅介護支援事業所の運営について検討を進めています。

看護の質向上のため、当協会の研修をはじめ日本訪問看護財団・神奈川県看護協会・川崎市看護協会等の外部研修に参加するとともに、職員一人ひとりが研修計画をたて研修参加しています。

また、事業所内では毎月医療安全会議や事例検討会、研修報告会や外部講師を招いての勉強会を開催し、毎週月曜日には川崎市立井田病院在宅医療部とのカンファレンスに参加し、情報交換を行っております。

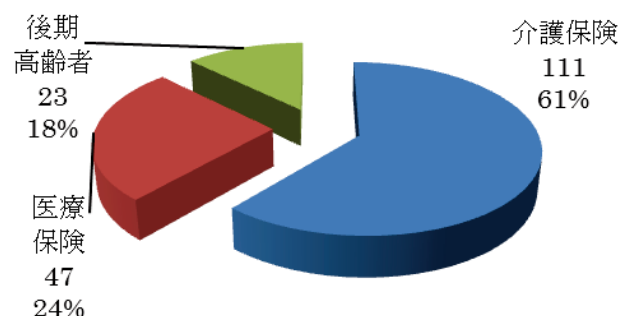
実習の受け入れは、看護学生の他に、関東労災病院看護師の一日訪問看護見学研修、更に今年度は川崎市立井田病院からの看護師の見学実習もあり、それぞれの病院でその後のフォロー研修も開催し、実習の評価を得るばかりでなく、看護間の連携が密になりました。

今後も在院日数の減少や在宅見取りの必要度が増すことを考えると、ますます病院と地域連携が重要ですので、この研修が継続できることを希望します。

(文責 所長 福原 加代子)

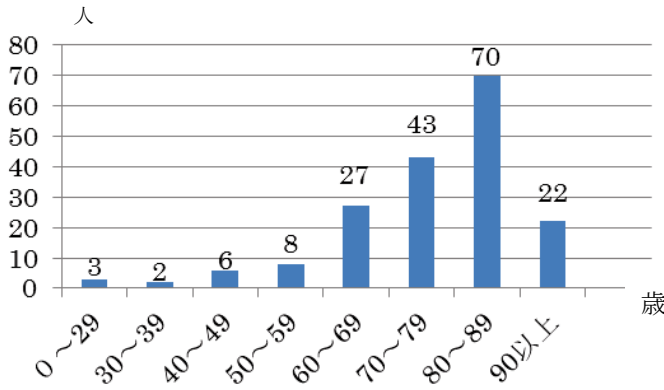
1 訪問看護サービス利用者数及び保険別状況 (2014年4月～2015年3月)

		実数	延件数
利用者		181	5,880
保 険 別	介護保険	111	3,697
	医療保険	47	1,420
	後期高齢者	23	771

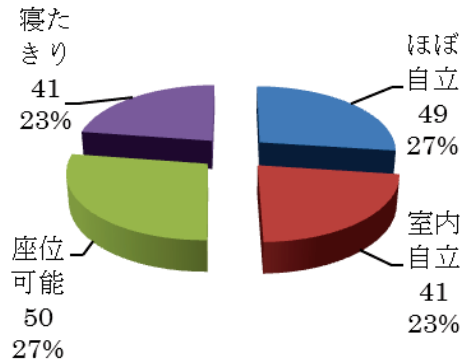


利用者実数は前年度と比較して5%増加し、保険請求訪問件数は8%の増加でした。高齢者で癌末期の診断を受けている利用者も増加傾向ではありますが、今年度は利用者実数の61%、延件数の約63%が介護保険の利用者でした。

2 利用者の年齢階級別状況

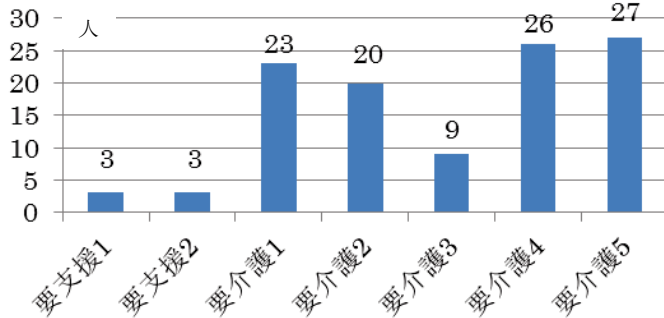


3 生活自立



利用者は80歳代が最も多く、70歳以上の利用者が75%を占めています。生活自立度は、ほぼ自立と室内自立が50%、寝たきりは23%でした。

4 介護保険利用者の認定状況(実数 111名)



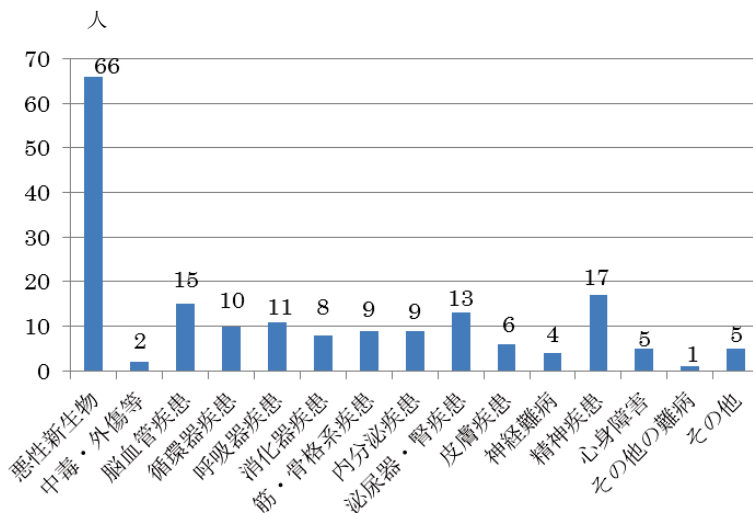
5 依頼経路(181名)

ケアマネジャー	100
医療機関看護師	39
包括支援センター	3
行政機関	5
家族・本人	4
MSW	24
医師	0
介護施設等	1
その他	5

介護保険利用者の介護区分は、要介護5が最も多く、要介護3～5の利用者が56%を占めています。

把握経路は例年通りケアマネジャーからの依頼が最も多く55%を占めております。今年度は、医療機関の看護師及びMSWからの相談が35%と昨年の40%に比べ減少していました。

6 利用者の主な疾病(実数 181名)



主な疾病分類の内訳、1位は悪性新生物で昨年同様で全体の36%、精神疾患、脳血管疾患の順でした。

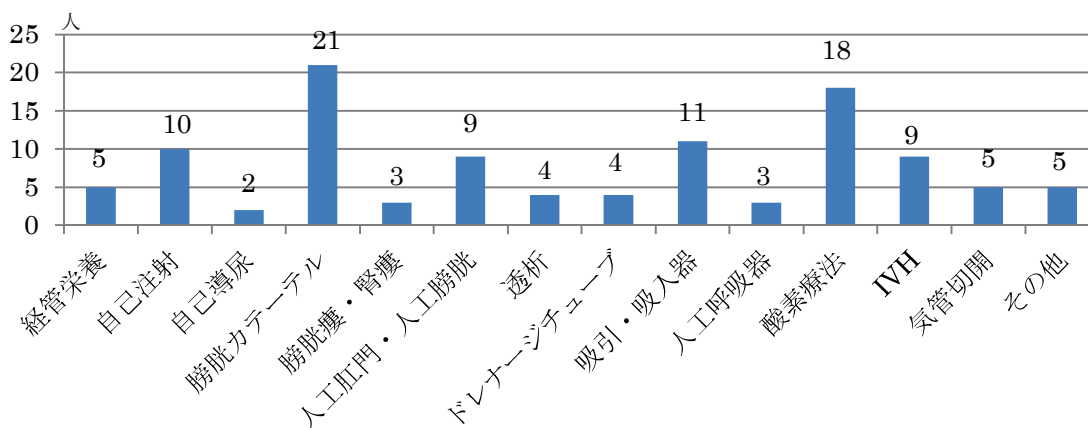
7 医療処置状況

(1) 医療機器等使用の有無

利用者実数	あり	なし
181	91	90

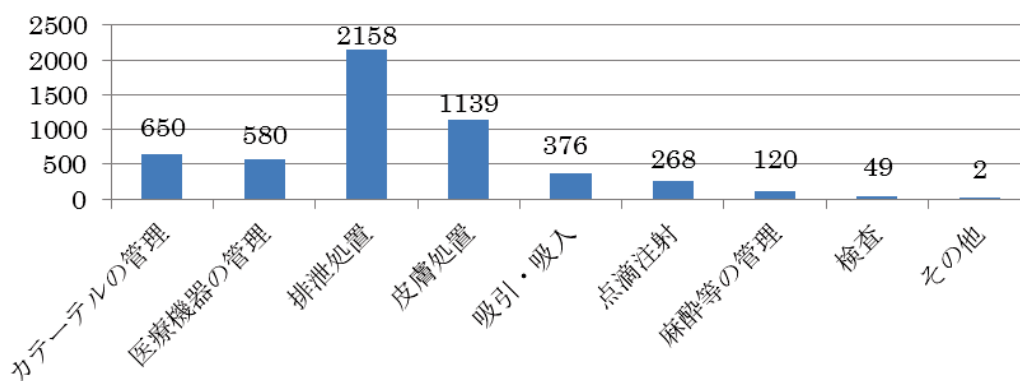
医療機器を使用している利用者数は約50%とわずかではありますが、前年度の51%より減少しています。

(2) 医療機器等の種類（84人中、延べ109件の内訳）



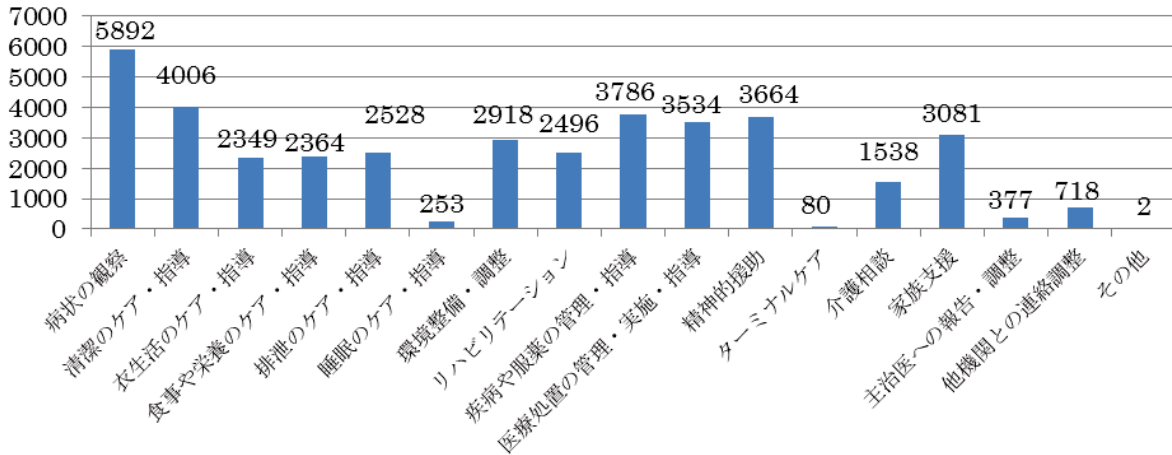
医療機器の種類は、膀胱カテーテル、酸素療法、吸引・吸入器、自己注射の順に多くなっておりますが、前年度と比較すると、経管栄養や膀胱留置カテーテルはわずかに減少し、在宅酸素やIVHが増加傾向にあります。

(3) 医療処置の管理・実施・指導の内訳（複数）



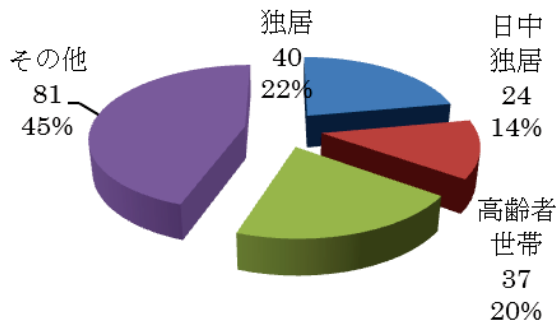
医療処置の管理・実施・指導の内訳で多いのは、前年度と変わらず排泄処置でしたが、2番目に多く実施したのは皮膚処置で、昨年と比べ300件以上増加していました。訪問件数が増加した割には、皮膚処置以外の医療処置は今年度全般的に減少しています。

8 訪問看護内容(複数)



訪問看護内容は、清潔ケア、疾病や服薬の管理・指導、精神的支援、医療処置の管理等が60%以上、家族支援は52%でした。

9 家族構成



10 認知症の有無と程度

認知症	なし	72
	あり	109
程度	軽度Ⅰ・Ⅱ	69
	重度Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ	40

「認知症状あり」の方が60%で、そのうち重度の方は36.7%でした。

11 利用終了理由

終了者数	入院	死亡	施設入所	軽快・不変	その他
89	7	63	7	1	11

死亡終了者63名(前年度より10名増加)のうち、自宅で亡くなられた方は30名で、エンゼルケアは18件実施しました。

12 緊急及び休日・年末年始等の訪問 116件

13 実習受け入れ状況

	実習人数	延べ日数
川崎市立看護短期大学	4名	20日(5日×4人)
川崎看護専門学校	12名	48日(4日×12人)
川崎市看護協会 訪問看護師養成講習会受講生	2名	2日(1日×2人)
関東労災病院在宅看護実習	7名	7日(1日×7人)
川崎市立井田病院在宅看護実習	8名	8日(1日×8人)